

プロジェクト名称	部活動の地域移行に伴う「フジSTEAMアドベンチャー部」発足事業		
申請者	フジSTEAMアドベンチャー	連携先	教育委員会、Catalyst Ent.

取組内容の詳細（図示、説明等）

《実現したい姿》



【フジSTEAMアドベンチャー部】

対象：中学1年生～2年生

定員：15名

活動：2026年春～

月1回／全12回

場所：富士市内

会費：6,000円/年

条件：12回参加できる学生

【年間スケジュール】

4月：オリエンテーション・部の目的理解
 5月：AIってなんだ？ - 画像生成・チャットAI体験
 6月：ミニロボ体験
 7月：プログラミング - Micro:bitとロボット制御
 8月：ドローンで地域観察・ドローン操縦・マッピング
 9月：3Dプリンタでデザインしてみよう - 簡単な設計体験と造形出力
 10月：地域の課題発見 - フィールドワーク、インタビュー
 11月：地域課題を解決する方法を考える
 12月：地域課題を解決アクション
 1月：地域課題を解決アクション
 2月：アクションしたことをまとめる
 3月：地域発表会 - 成果発表・フィードバック会

本提案のポイント

- ・STEAM教育×地域課題探究
- ・企業や地域の力を活かした協働型部活動
- ・将来のキャリア形成につながる最先端体験
- ・地域人材育成・まちづくり施策との連携が可能

地方創生SDGsへの貢献度

現在は学校内活動が中心である「科学・テクノロジー教育」を、地域・企業・市民が支える形に広げることで、富士市の「教育×産業×地域活性」をつなぐ新たなモデルを構築する。次世代のSTEAM人材育成によって地域産業基盤の底上げを図る。

実現性・将来性

富士市教育委員会、地域企業（フジモト未来★ラボ Catalyst Ent.等）、大学生・高校生ボランティアなど、多様なステークホルダーと連携可能。校内外の実験教室や体験型学習を通じて、地域全体で持続可能な部活動運営が見込まれる。

先進性・独自性

「STEAM教育×地域課題探究×部活動地域移行」を融合した全国的にも先駆的な試み。AI・ドローン・3Dプリンタ・プログラミングなどの最先端技術を活用し、中学生が地域課題の発見から解決までを行うプロジェクト型活動を展開。全国のモデルケースとして富士市から発信できる。

関与する主体の多様性・規模

教育、企業、市民、学生の多層的ネットワークにより構成。富士市内全域の中学生を対象に募集し、学校・地域・企業・行政が協働する「共育型」部活動として展開。STEAM企業や地元ものづくり企業、大学研究者の参画を想定。